



平成 28 年 7 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ  
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一  
(コード番号: 6264 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久  
(TEL. 0996-64-2900)

### 平成 28 年 6 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 28 年 6 月度の月次受注残高とその他情報を開示いたします。

記

#### 1. 月次受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	167	52.9%	△7.7%	△2.6%
F P D分野	140	44.3%	△18.9%	△25.2%
その他分野	8	2.8%	△30.9%	△66.5%
合計	316	100.0%	△13.8%	△18.0%

#### 2. 月次受注残高の推移

(百万円未満切捨て)

区分	H27.7月	8月	9月	10月	11月	12月
半導体分野	159	158	143	133	105	99
F P D分野	252	237	202	250	250	233
その他分野	44	47	37	22	12	13
合計	456	443	383	406	368	346

区分	H28.1月	2月	3月	4月	5月	6月
半導体分野	100	91	117	137	181	167
F P D分野	217	199	176	184	173	140
その他分野	12	13	12	11	12	8
合計	330	304	306	334	367	316

### 3. 月次受注残高の概況

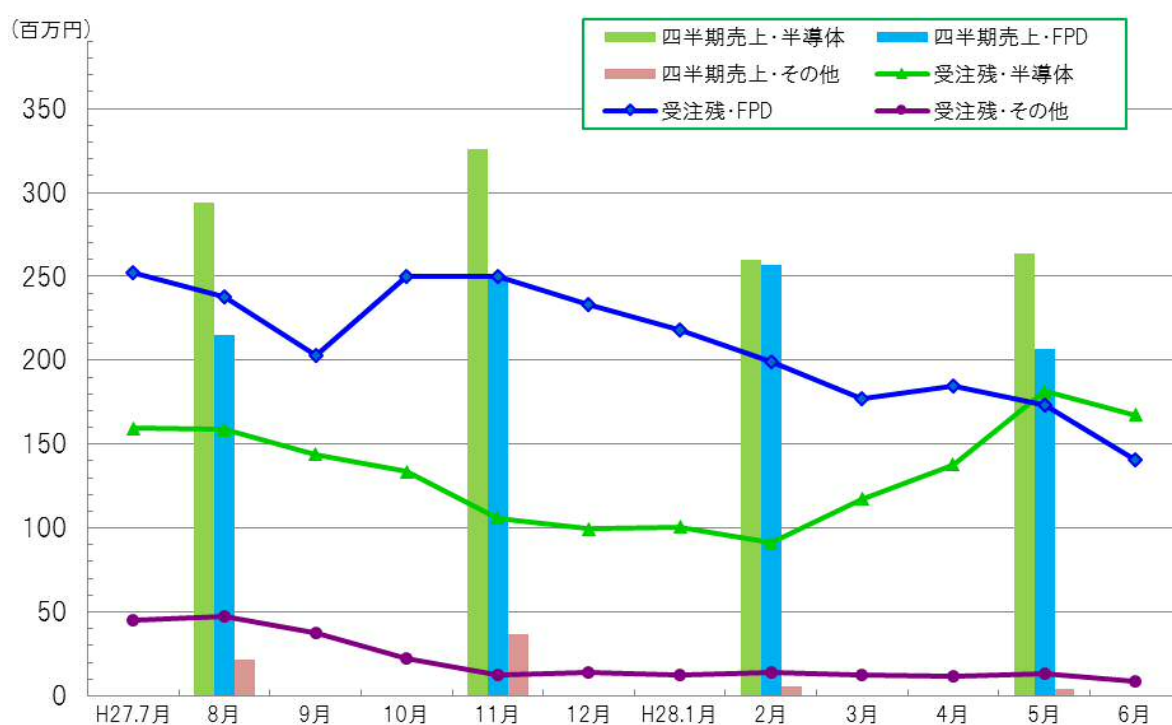
平成28年6月末の受注残高は、半導体分野においては、受注は高水準ながらも売上検収が過去最高水準に回復したことから、対前月増減率は7.7%減、対前年同月増減率では2.6%減の167百万円となりました。FPD分野においては、売上検収に至った案件が増加したことで受注残高は減少し、対前月増減率は18.9%減、対前年同月増減率では25.2%減の140百万円となりました。その他分野においては、引き合いは出始めながらも受注には至らず、対前月増減率は30.9%減、対前年同月増減率では66.5%減の8百万円となりました。これらの結果、平成28年6月末の受注残高は、対前月増減率13.8%減、対前年同月増減率18.0%減の316百万円となりました。

今後の見通しとしましては、半導体分野では微細化投資と3D NANDの投資拡大の影響で受注は急回復し、足元では売上検収についても過去最高水準で推移するなど、拡大傾向が強まっております。FPD分野では、売上検収は急回復しながらも一時的に受注は停滞しましたが、有機EL向けの引合いが活発になっており、年末にかけて受注は拡大し始める見通しです。また、第10.5世代大型パネルの設備投資計画が具体化しており、多数の引き合いを受ける中で受注品種拡大に取り組んでおります。

全般的には、良好な市場環境の中で引き合いが増加しており、当社の試作能力および生産キャパの拡大が課題となっております。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。